

令和2年第6回教育委員会議事録

項 目	内 容 記 録
1. 期 日	令和2年4月3日（金）13：30開会
2. 場 所	日野町役場 第1会議室
3. 開会（閉会）	13:30～14:45
4. 出席委員等氏名	頭本元文、景山美由紀、飯田頼昭、松田暢子、生田 進
5. 教育長あいさつ	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会事務局が1階から2階へ引っ越し、4月1日付の人事異動で人員も変わった中でのスタートになった。 ・3月31日付で義務教育学校新設に関する具申書を町長に提出した。 ・日野郡3町で設置する高校生を対象とした公設塾が4月13日にプレオープンを予定している。新しく採用した塾講師も本日から勤務している。 ・新型コロナウイルスの影響で鶴の池マラソン大会の中止が決まった。自治会長会議も文書開催に変更、同推協総会も文書開催になった。感染者がいつ出てもおかしくない、先の読めない状況ではあるが、いつ何が起きてもいいように事前に十分な準備をしておきたい。
6. 意見交換	<ul style="list-style-type: none"> 課 長 ・日野町立義務教育学校新設に関する具申書について町長と委員の意見交換の場とする。 町 長 ・「義務教育学校開設と時期を合わせることを優先し、保育環境の質が下がるのを避けなければならない」の意味を聞かせていただきたい ・「既存の学校の跡地利用について児童生徒が地域住民とともに学習していく場として利用することも考慮していただくことを要望するとあるが、具体的にどういったことが考えられるか。 ・資料にあった地区別児童生徒数の推移はとてもよくわかる。日野郡の中学生がものすごい勢いで減少している。どういう学校の在り方がいいのか校区設定についての答申、義務教育学校設置に関する具申を踏まえて取り組まなければならない。 課 長 ・保育環境について教育長から 教育長 ・義務教育学校の開校にあたり、保育所の開園を無理に合わせるようなやり方では保育の質が低下する恐れがある。あくまでも義務教育学校の開設を優先するという意味である。 頭 本 ・タイムスケジュールを守らないと令和5年の開校に間に合わない。できるだけ早く義務教育学校として出発した方が子どもたちのためにも良い。問題や意見は多々あるが、子どものことを一番に考えて決断して進めていくべきである。

町 長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2つある小学校をどうするか、場所をどうするかという問題はあがあるが、中学校の生徒数が減少し部活もできない状況の中で、中学校を含めた教育をどうするかという論点が必要である。 ・ 保護者や住民に説明するときには日野町の将来に向かった教育のあり方について教育委員会も一緒になって説明していただきたい。
課 長 教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 跡地利用について教育長から ・ 具申書では新しい学校を根雨小学校にと考えているが、その場合、黒坂小学校の校舎が空く。そこをどうやって活用するか。現在根雨、黒坂両校とも地域学習を行っている。地域のことを地域の人から学んだり、自分たちで率先して学んだりしている。地域の良さ、文化などを学ぶための学び舎として活用出来たらよいと考えている。
町 長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 義務教育学校だと 9 年間だが地域学習などが盛り込みやすくなるか
教育長 頭 本	<ul style="list-style-type: none"> ・ 柔軟に対応ができると思う。 ・ 公民館で行うしめ縄づくりなど、地域の人に教えてもらうとか鵜の池キャンプ場で中学生クラスと小学生クラスが地域の人も交えて一緒にキャンプするなど独自の計画を立てることもできる。
町 長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 住民説明会の時にはいろいろな活用の仕方を具体的に示さないといけない。
教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 菅福小学校から受け継いだ傘踊りなどを学ぶ場にしても良い。地域の方も近い方が来やすい。
町 長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通学バス路線で児童生徒がいなくなる集落も出てくる。通学手段の確保や工夫が必要。
教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通学に関しては所管課と協議が必要。日野町の交通体系を見直す時期に来ている。子どもの安心安全を確保したうえでの通学確保が必要。
頭 本 教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後は町長が議会に諮るのか。 ・ 具申書は町長に対して教育委員会の考えを示したものである。最終的には町長が新しい学校の設置者となるので、町長が判断され、管理職会議などできちんと報告し、方向性を見出したうえで議会に提案していくことになると思う。
町 長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 場所も大事だが、どういう教育をしていくのか、教育課程の編成や、義務教育学校の教育のカリキュラムや校舎の建設などいろいろなことを考えないといけない。一つの方向性を示し住民に説明しながら進めていこうと思う。まず議会に報告してから住民に説明するべきか、住民と意見交換しながら進めるべきか

<p>頭 本 松 田 教育長 松 田 教育長 飯 田 景 山 町 長</p>	<p>悩んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議会が先の方がよいと思う。議会に納得してもらい一緒に住民を説得してもらうようにもっていかないに進まない。 ・広報に答申が出ていたが義務教育学校の場所までは書いてなかった。住民は次の段階を待っている状況。早いうちに町の考えを住民に伝えた方がよいと思う。義務教育学校の良さや教育委員会で決めたことを伝えれば住民に理解してもらえらると思う。子どもが少なくなるから義務教育学校を設立するのではなく、子どもが少なくなっても夢のある学校を創っていくんだというところをもっと前面に出てくれば納得されると思う。場所が根雨になったから肩を落とすのではなく、費用を最小限に抑え、現在ある建物を活用するけど見た目も新しい学校になったんだという設計にしてほしい。 ・未来、夢が語れる、希望が持てる新しい学校づくりをアピールしていく。そのためには方向を定めていないと説明がしにくいので、町長に判断いただきたい。 ・教育委員会も考えた末の結論で皆が賛成している。賛成者を増やして進めていかなければならない。 ・校区審議会の委員も含め、地域全体で学校を創っていくという説明会になれば一番良い。 ・時期的には良いチャンスだと思う。「子どもたちのために」が大前提。そのことを念頭に置いて説明会などに向かっていただきたい。 ・町長自身が具申書を見られて「これで行こう」と思われているのであれば進めていただきたい。住民の意見を聞きながら進めれば反対意見も出てくる。反対意見が出たらやめるのかということそれは違うと思う。 ・皆さんの熱い思いをうかがった。そのように進めていきたい。
<p>7. 報告 教育長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事務報告（行事等） ・4/1 辞令交付 4/2 ひのっこ保育所入所式 4/3 教育委員会、着任式 4/7 小中学校始業式 4/8 小中学校入学式 4/11 小学校参観日、PTA総会 4/12 英語寺子屋 4/13 県教育長会など 4/18 中学校参観日、PTA総会 <p>※おしどり学園開校式、管理職歓送迎会は中止</p>

<p>課 長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一般報告 ・町職員の人事異動 <ul style="list-style-type: none"> 遠藤律子（教育課長補佐→会計管理者兼住民課長） 三好達也（企画政策課長補佐→教育課長補佐） 宇田川三枝（ひのっこ保育所長→課長級に昇格） 多賀えり子（教育課主事→住民課主任） 濱岡文香（教育課主事 新規採用） 名越千華（ひのっこ保育所保育士 新規採用） 坪内明日香（ひのっこ保育所保育士 新規採用） 矢田貝慎一（教育課副主幹 再任用） 田貝嘉彦（下榎隣保館長 再任用） ・令和2年度児童生徒数 <ul style="list-style-type: none"> 0歳から5歳 64人 うち就園児54人、未就園児10人 3歳以上児は全員就園 黒坂小学校25人 根雨小学校45人、うち特別支援学級1人 小学校児童数合計が70人 日野中学校51人、うち特別支援学級4人 ・令和2年度小中学校教職員 <ul style="list-style-type: none"> 黒坂小 福留正実教諭（境港市立渡小から） 澤田尚美講師（継続） 由良留美子講師（新規） 根雨小 山田二郎校長（米子市立尚徳小から） 船越悠介講師（新規） 細田真知子（継続） 松永浩幸事務副主幹（江府町立江府小から） 日野中 青江邦弘教頭（米子市立弓ヶ浜中から） 川上誠之進事務主幹（根雨小から）
<p>景 山 課 長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日野中の佐藤先生は技術だけか ・理科と技術だが枠としては技術。今年度は江府中の技術を兼務される。美術の古賀先生は日南中との兼務だったが今年度は江府中との兼務。佐藤先生が理科を持たれるかどうかは江府中との兼ね合いがあるため分からない。
<p>松 田 課 長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・再任用の方の短時間勤務は何日か ・矢田貝さんと田貝さんは週4日 ・令和元年度学校自己評価 <ul style="list-style-type: none"> 黒坂小 基礎基本の定着「A」、授業改善の推進「A」、道徳科を核とする心の教育「B」、体力向上の推進「A」、よりよ

<p>課 長</p> <p>景 山 頭 本 松 田 教育長 課 長 教育長</p>	<p>い生活習慣の定着「B」、地域資源活用の推進「A」、家庭学習習慣の定着「B」、凡事徹底の推進「B」、情報発信の推進「A」、評価項目9項目中、A評価が5項目、B評価が4項目、おおむね達成できている</p> <p>根雨小 凡事徹底「B」、まなび「A」、なかま「B」、あそび「A」、評価項目4項目中、A評価が2項目、B評価が2項目、おおむね達成できている。</p> <p>日野中 思いやりの心の育成「A」、凡事徹底の実践「B」、特別支援教育の推進「A」、基本的な生活習慣の定着と食育の推進「B」、授業改善「B」、落ち着いて学べる環境づくり「A」、ICT教育の推進「B」、家庭学習の定着と内容の充実「C」、基礎体力の向上、持久力・忍耐力の育成「B」、部活動の充実「B」、地域の人との交流を通し、郷土愛の育成「B」、小中交流授業の推進「A」、小学生高校生との交流「A」、9年間を見通した授業「A」評価項目14項目中、A評価が6項目、B評価が7項目、C評価が1項目、おおむね達成できている。</p> <p>いずれも次年度の改善方策を基に令和2年度の計画を組み立てていくと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中学校の不登校はどのような状況か ・ 環境を変えることが必要ではないか ・ 以前はわかあゆ教室があった。 ・ 現在も伯耆町と南部町にあるがなかなか通えない ・ わかあゆ教室は県が設置していたが、県が撤退したときに町だけでは維持ができなかった。現在は日野郡にに適応指導教室はない ・ 学校、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーなど様々な機関が関わり対応しているので少しずつ改善していくのを待つしかないと思う。
<p>8. 議事 課 長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議案第18号 令和2年4月1日付人事異動等について 正職員9人、会計年度任用職員38人に辞令交付 ・ 議案第18号 承認 ・ 議案第19号 令和2年度日野町立学校主任等の任命について 黒坂小6人、根雨小6人、日野中11人を主任等に任命 ・ 議案第19号 承認 ・ 議案第20号 CSディレクターの委嘱について 稗田育子さんに引き続き委嘱

<p>松田 課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・議案第20号 承認 ・議案第21号 英語活動助手の委嘱について 英語寺子屋の助手として引き続き山形文子さんに委嘱 ・議案第21号 承認 ・保育所の栄養士は募集されるのか。 ・現在募集中である。現在は西村和美さんをお願いしている。
<p>8. その他 頭本 課長 頭本 景山 教育長 課長 教育長 飯田 教育長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・いつコロナウイルスが入ってきてもおかしくない状況である。 ・予防策などを学校に指示している。 ・PTA総会があるが保護者への注意喚起もすべきである。 ・備品として学校にマスクはないのか ・多少はあるがそんなのに多くはない ・PTA総会なども実施できるかどうかわからない状況である。 ・町も危機管理対策を行っている、様々な行事の開催も見直されている。学校も例外ではない。人が集まることはなるべく避けたい。 ・駅前のあいさつ運動もなくなると思う ・重要なこと以外は基本的に中止する方向になると思う
<p>9. その他 課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・次回の委員会は5月1日（金）午前9時30分から （14：45委員会終了）

令和2年4月2日

日野町教育委員会